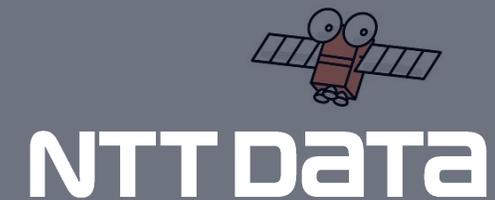


# Beyond Finance™



みらいの社会のつくり手に

## APIサンドボックス実験 取り組み内容のご紹介

2025年1月23日

第三金融事業本部 決済ITサービス事業部 第一統括部 日銀企画開発担当

# 弊社のAPIサンドボックス取組み概要

身近な例をCBDCで実現するという切り口を出発点に、「仮押さえAPI」を公開。10～12月は、これを利用して、より利便性・革新性の高いユースケースの検討会を実施。現在、3月FIN/SUMに向けた活動を検討中。

2024年			2025年
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<b>身近な例</b> ➤ CBDCを利用して、身近な例や既存の民間サービスを実現するには、どんなAPIがあったら良いか		<b>仮押さえAPI応用①</b> ➤ ユースケース抽出	<b>仮押さえAPI応用②</b> ➤ 様々な民間システムと連携したユースケース（案）

本日のアジェンダは、下記3点となります

## 1 弊社APIのご紹介

4月～10月に作成した弊社APIによって、できることを、ご紹介します

## 2 検討内容ご紹介/ディスカッション

10月～12月に、弊社内および各社さまと合同で検討した内容をご紹介し、それを踏まえてディスカッションできればと思います

## 3 FIN/SUMに向けた検討アイデア

1月より、FIN/SUMに向けて、検討しているアイデアをご紹介します

# 01

## 弊社APIのご紹介

4月～10月に作成した弊社APIによって、できること  
をご紹介します



弊社のAPIは、以下 2 つに分類されます

### External API

追加サービス利用者に  
公開することを想定し  
たAPI

### Internal API

本実験で他社の利用  
を円滑にすることを目  
的とし、追加サービス  
利用者への公開を想  
定しないAPI

## 1.2. 今回リリースするAPIの機能概要

下記4点のAPIをリリースしました。

### 1 年齢情報確認API

External API

- 1 CBDC口座IDをもとに、CBDCユーザー情報にアクセスし、年齢情報を取得します  
CBDCユーザー情報は、CBDC口座開設のプロセスの中で、ユーザー管理を司る部分で管理されるものと仮定し、弊社DBに保持します

### 2 CBDCユーザー情報作成API

Internal API

- 2 各社さまが、年齢情報確認APIを利用しやすくするために、ユーザー情報を自由に作成するためのAPIです

### 3 仮押さえ実行API

External API

- 3 日本銀行さまの/hash-timelocksを活用した仮押さえ実行を行うAPIです

### 4 仮押さえ明細確定API

External API

- 4 「3.仮押さえ実行API」を確定するAPIです。「仮押さえ額 < 確定額」「仮押さえ額 = 確定額」「確定額 < 仮押さえ額」の3パターンに対応しています。さまざまな決済予約→確定のユースケースの実現を容易にします

## 下記 3 点のユースケースを実現

**01**

CBDCを利用した、電車賃の支払い

決済予約額より確定額が大きくなり、自動で追加の送金を行うケースも含む

1.4.

**02**

CBDCを利用した、ガソリンスタンドでの支払い

役務提供後に金額確定する代表例

1.5.

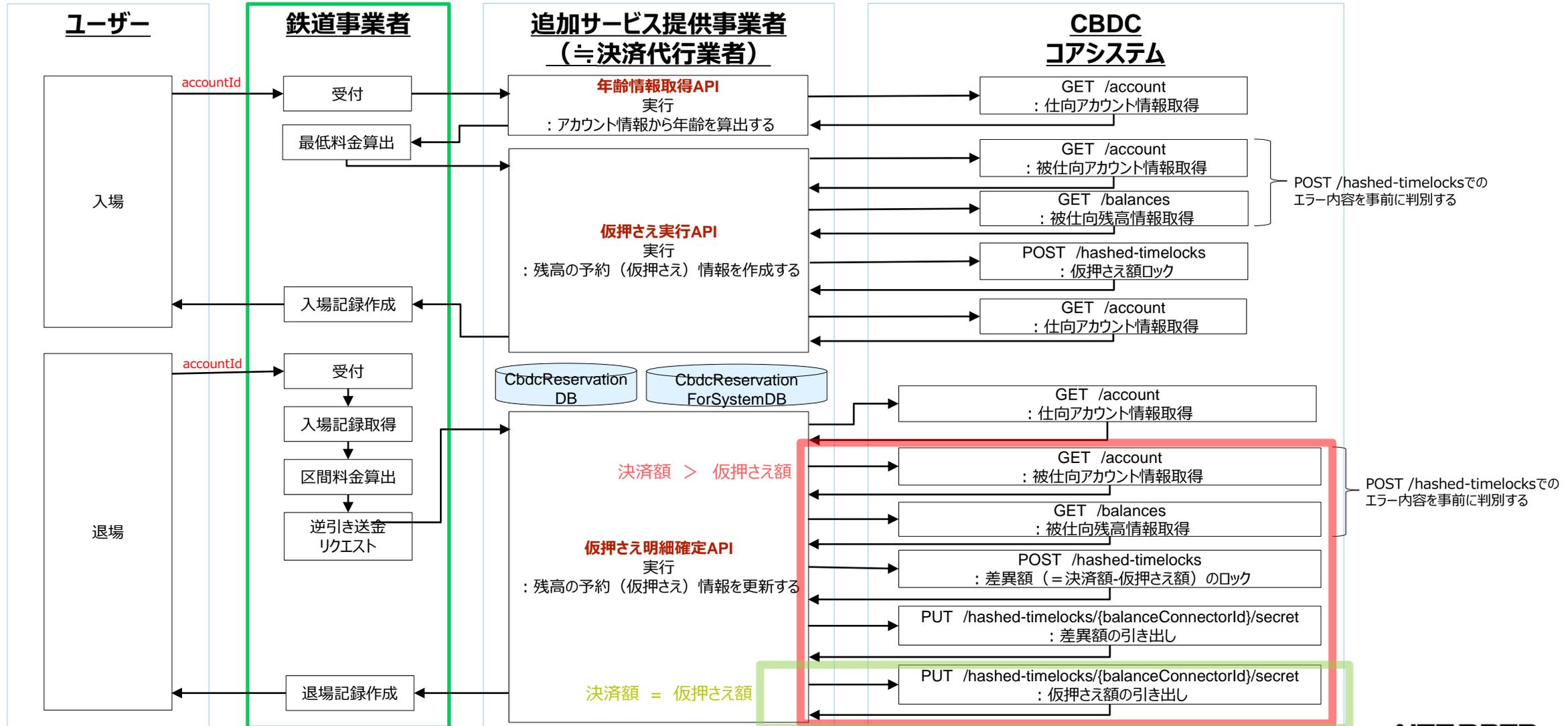
**03**

CBDCを利用した、ECサイトでの支払い

1.6.

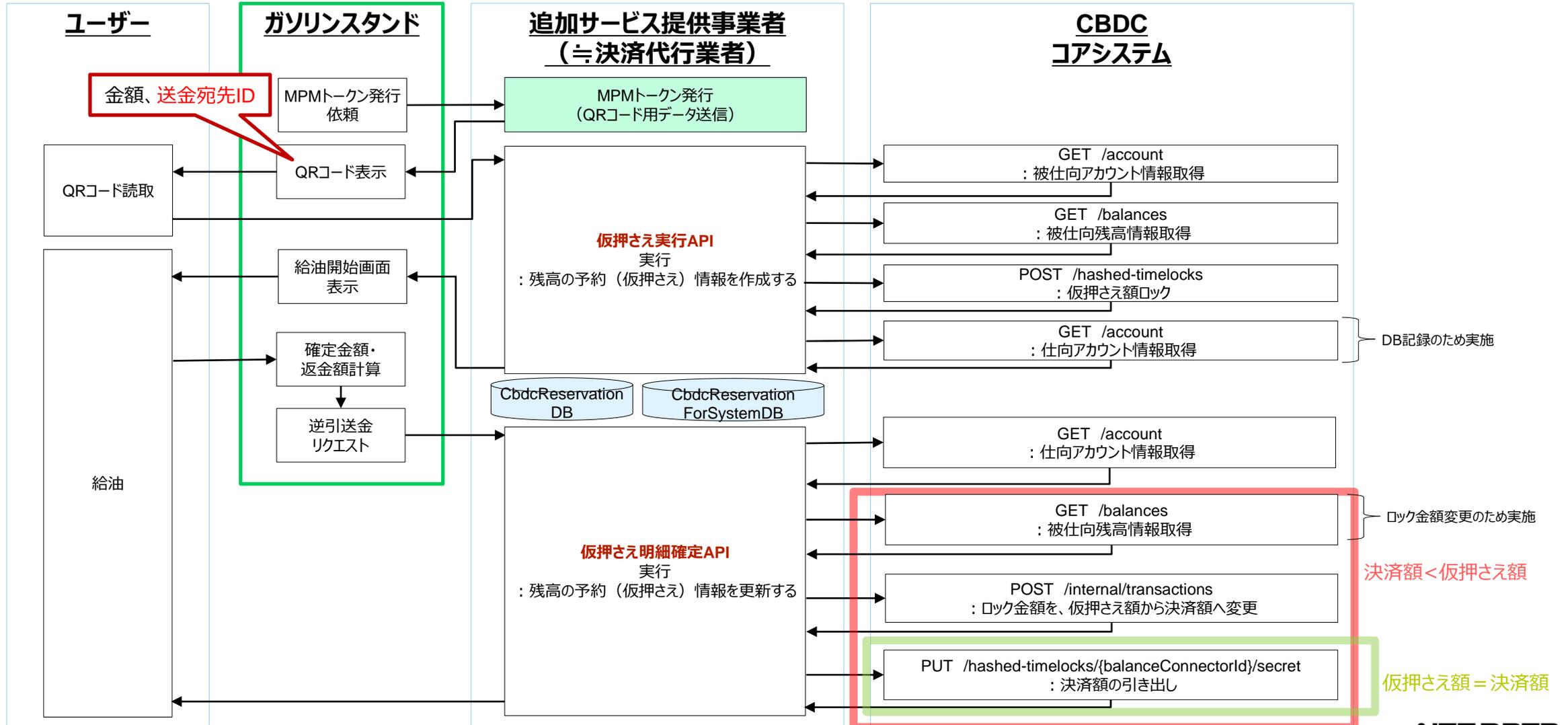
# 1.4. CBDCを利用した、電車賃の支払い

仮押さえ額 ≤ 決済額 (年齢に応じて決済額が変動するケース。)



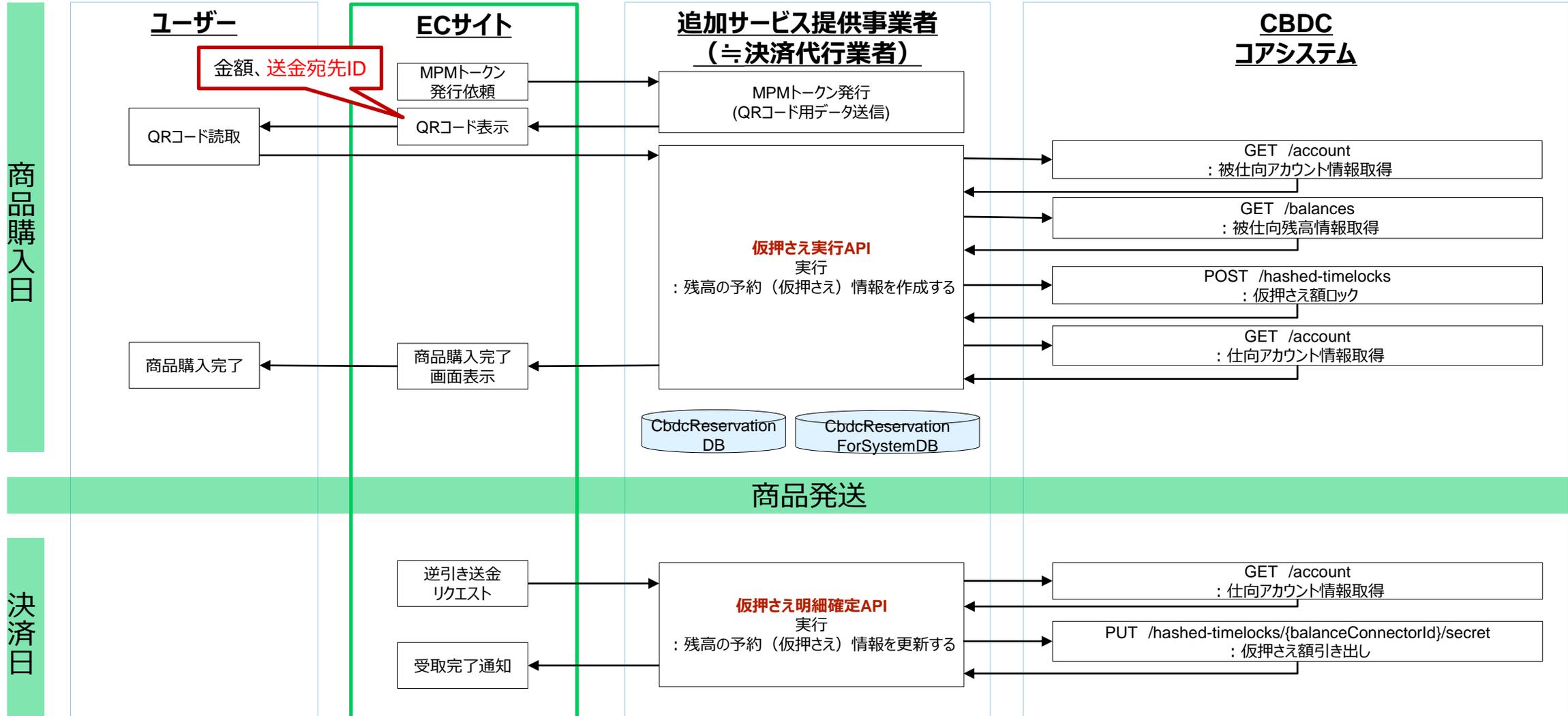
# 1.5. CBDCを利用した、ガソリンスタンドでの支払い

決済額 ≤ 仮押さえ額 (余裕をもった金額で決済予約をして決済時に、確定額との差額を、自動で払い戻すケース。)



# 1.6. CBDCを利用した、ECサイトでの支払い

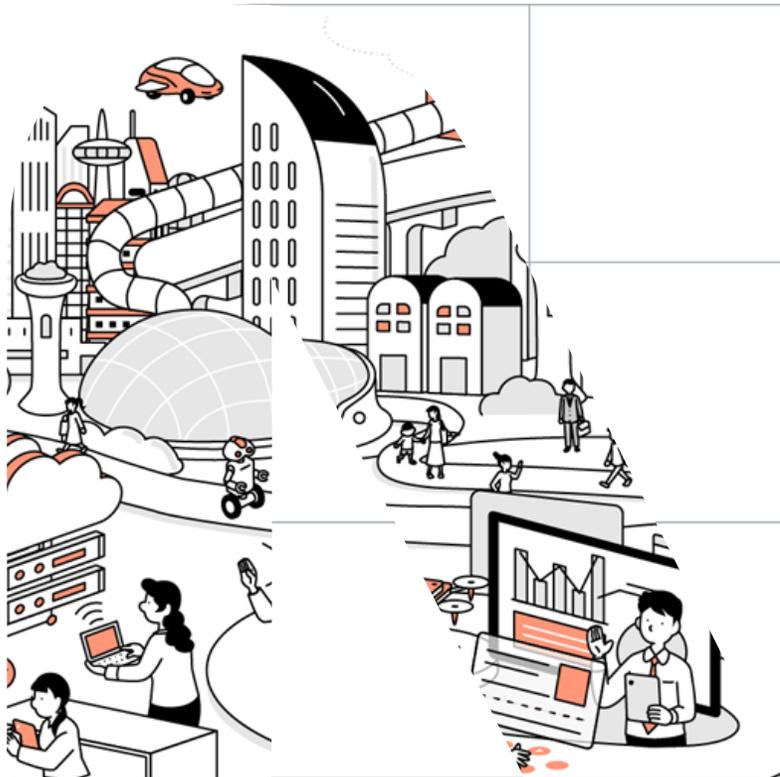
仮押さえ額=決済額（購入時に決済予約して、発送時（あるいは配送完了時）に確定するケース。）



# 02

## 検討内容ご紹介 / ディスカッション

10月～12月に、弊社内および各社さまと合同で検討した内容をご紹介し、それを踏まえてディスカッションできればと思います



## 2.1. 今後の追加サービス検討の方向性

初回は、身近なユースケース例をCBDCで実現するという切り口で検討し、仮押さえAPIをリリースしました。

今回は、仮押さえAPIを使い、さらに革新性が高いユースケース例をCBDCで実現するという切り口で検討しました。

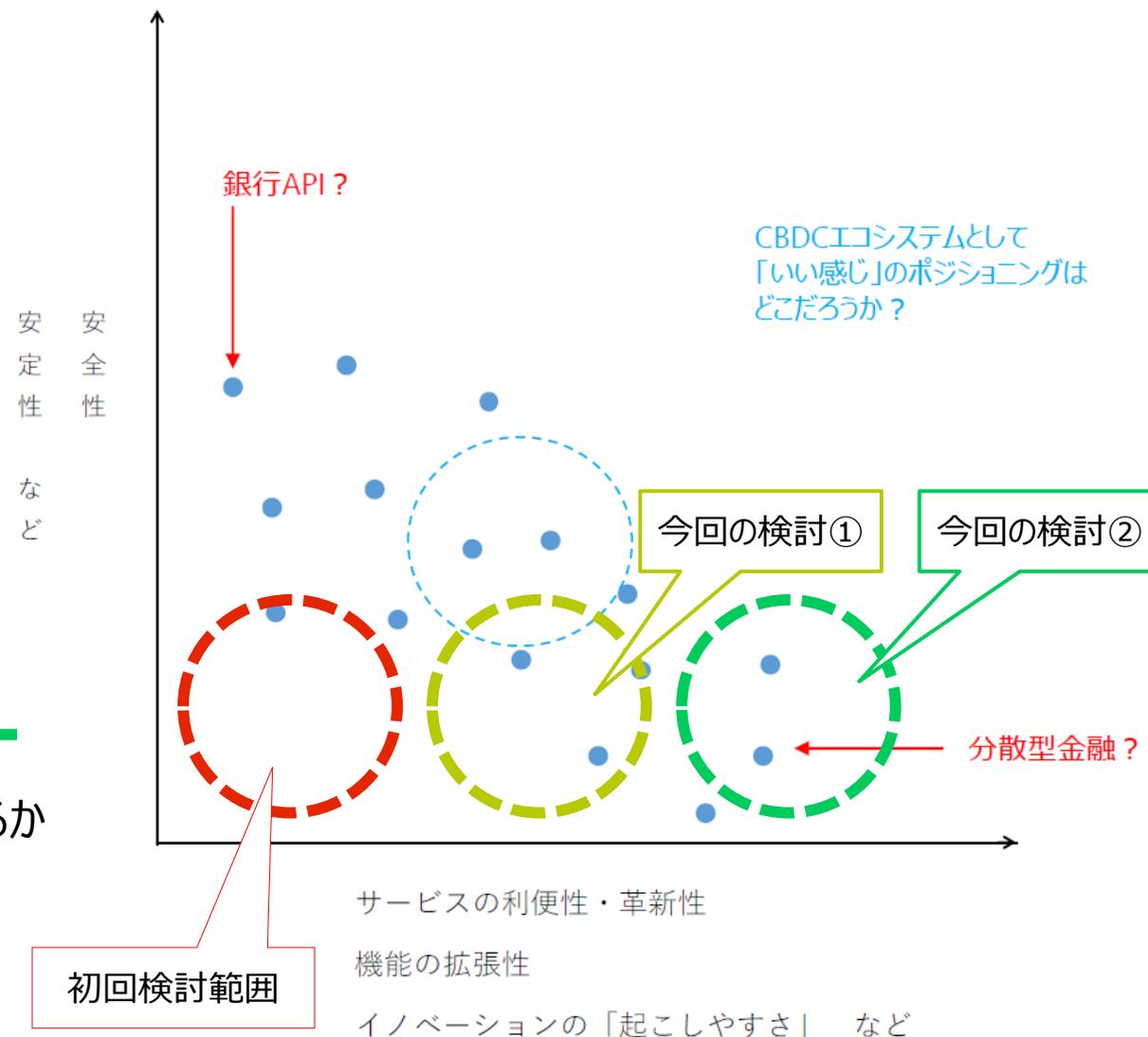
その結果、以下2つについて、社内で検討を進めました。

### ①あまり国内で普及していないサービスについてAPIで実現

- 配車サービスでの待機料金
- 料金青天井可への不安を払拭する方向での活用

### ②国内外問わず提供されていないサービスについてAPIで実現

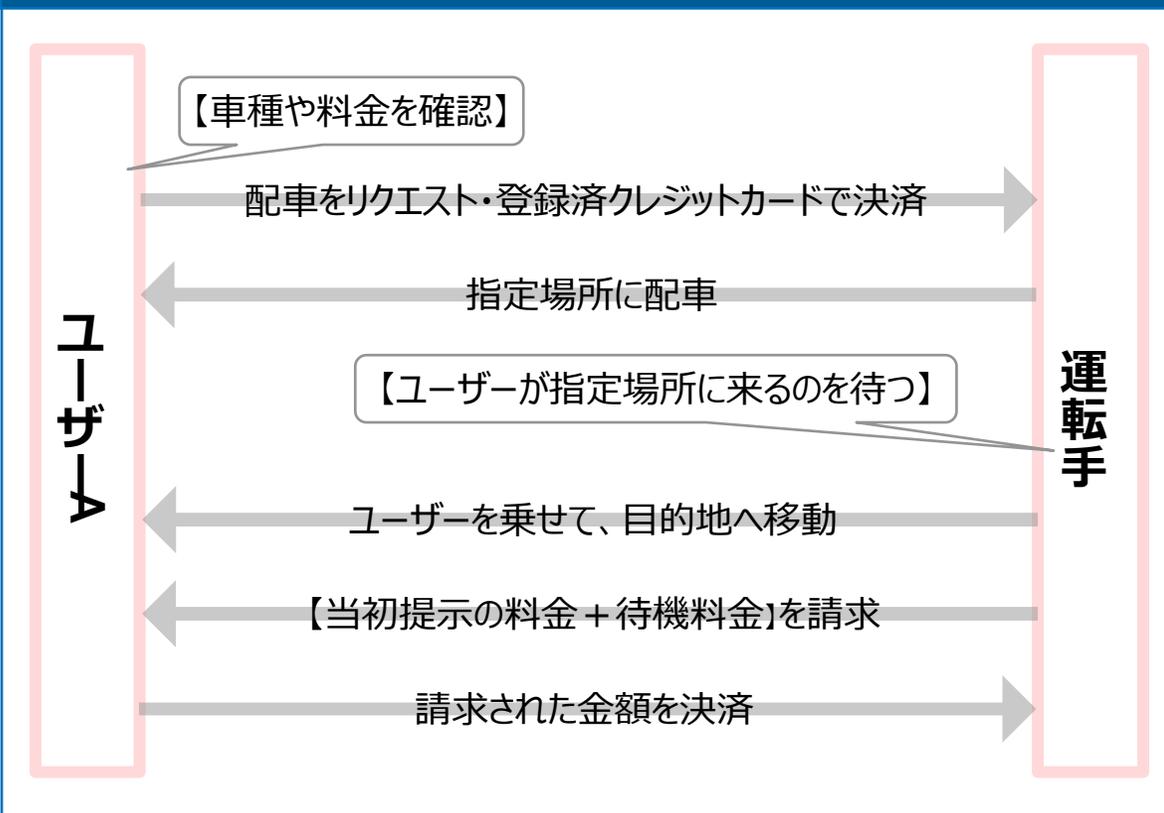
- 第三者の介入のないCtoCでの返品処理
- 既存サービスに欠かせない仕組みを取り払ってどう実現するかという切り口で発想し、APIの活路を検討



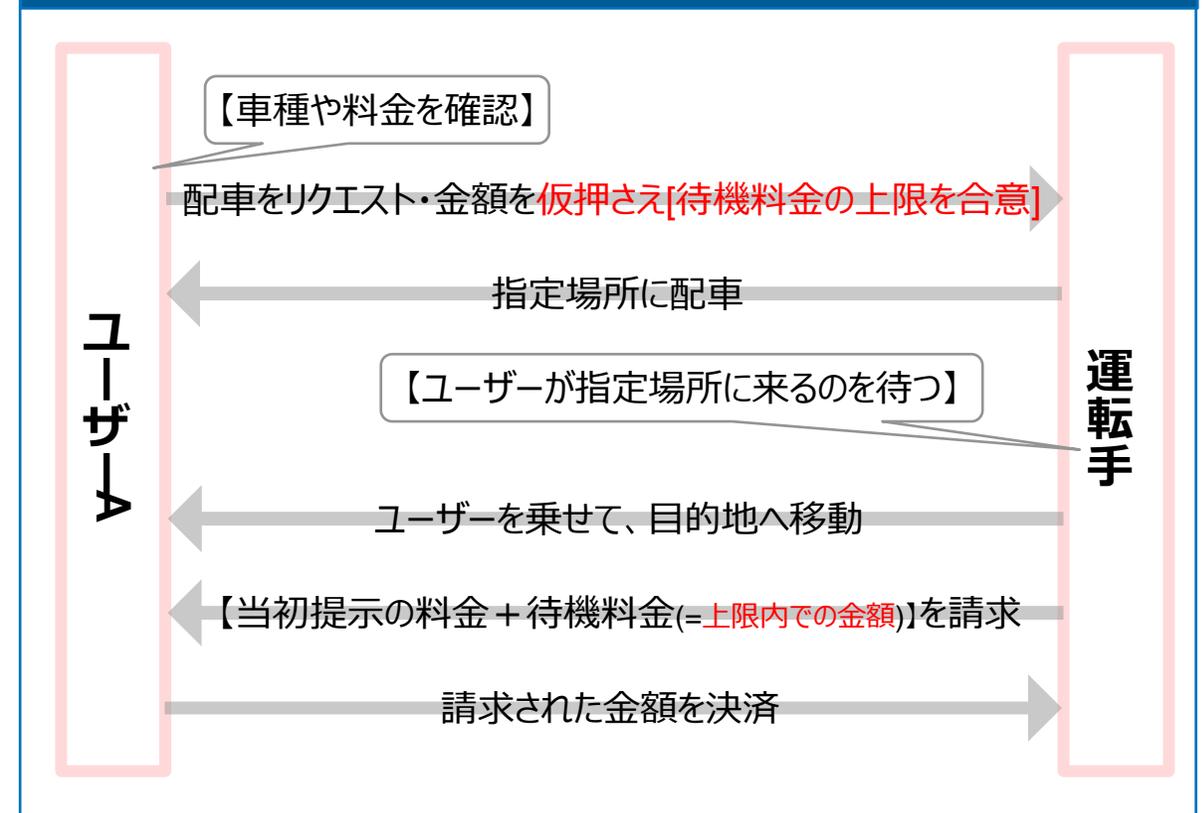
## 2.2 ①あまり国内で普及していないサービスについてAPIで実現

仮押さえAPIを応用することで、高額請求への不安を軽減できる。このことは、国内で社会問題化している、修理業者による高額請求（緊急時の駆けつけサービスのトラブル）の防止等、**青天井への不安の払しょくに活用ができる**

現在：高額請求を防止するためには、サービス側の仕組み（ユーザーによる運転手の評価や、待機料金算出のルールなど）が不可欠

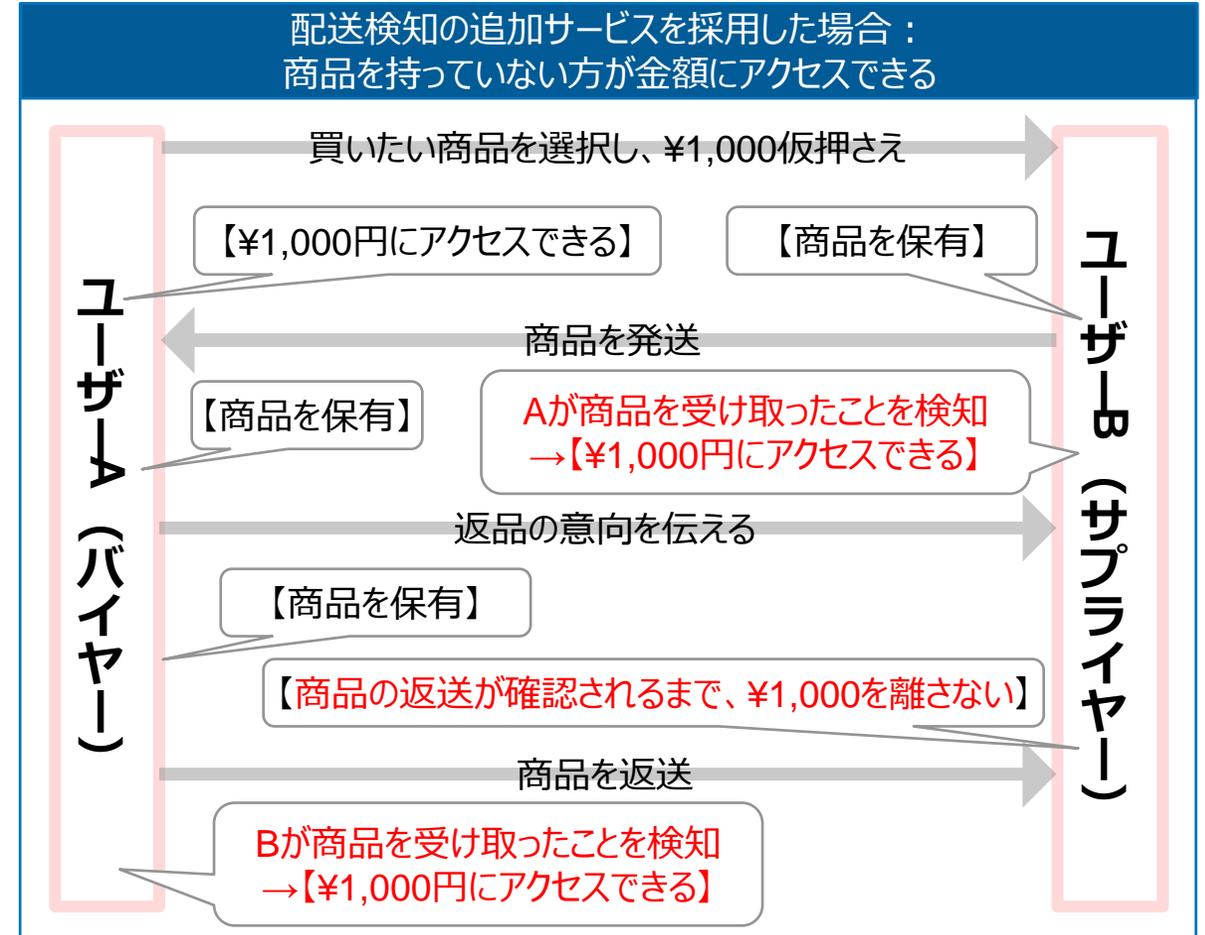
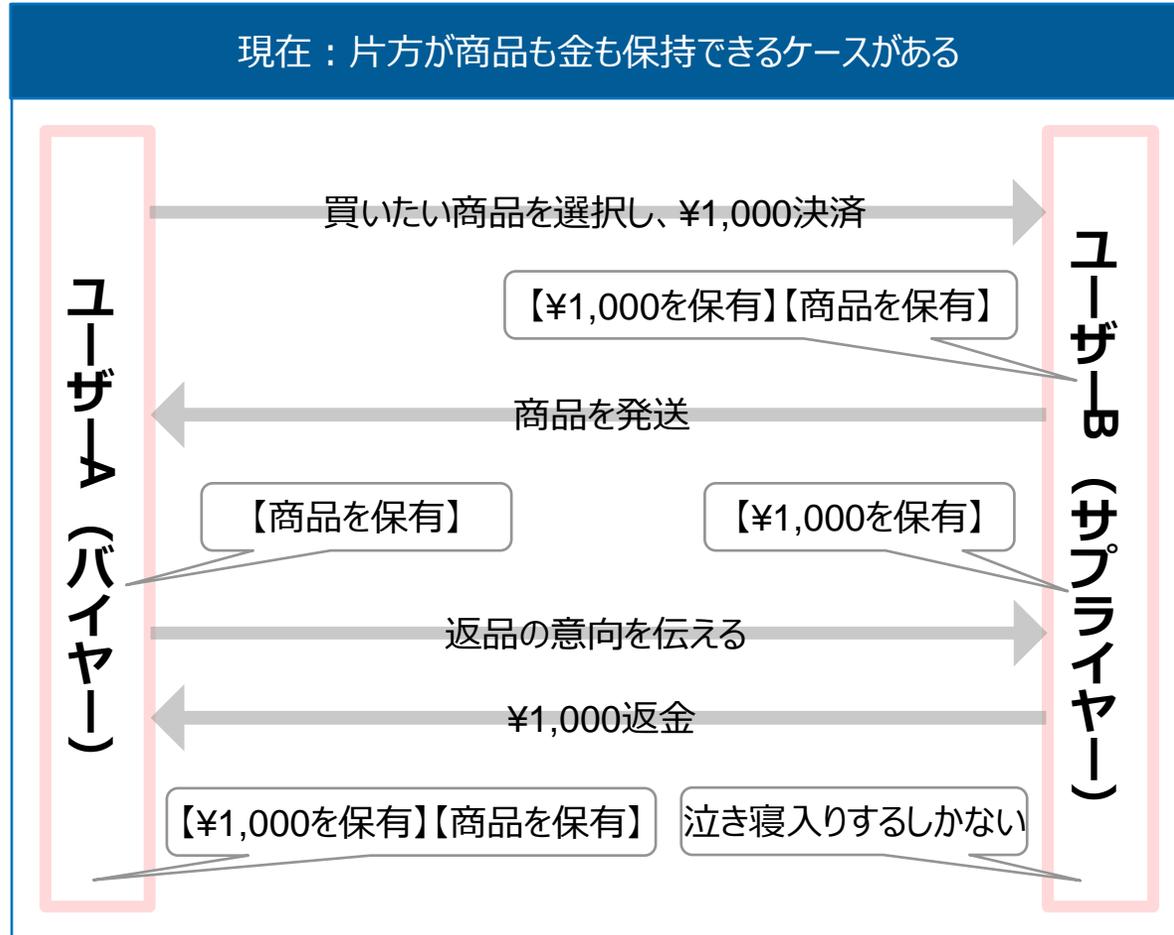


仮押さえAPIを応用した場合：合意範囲内での請求



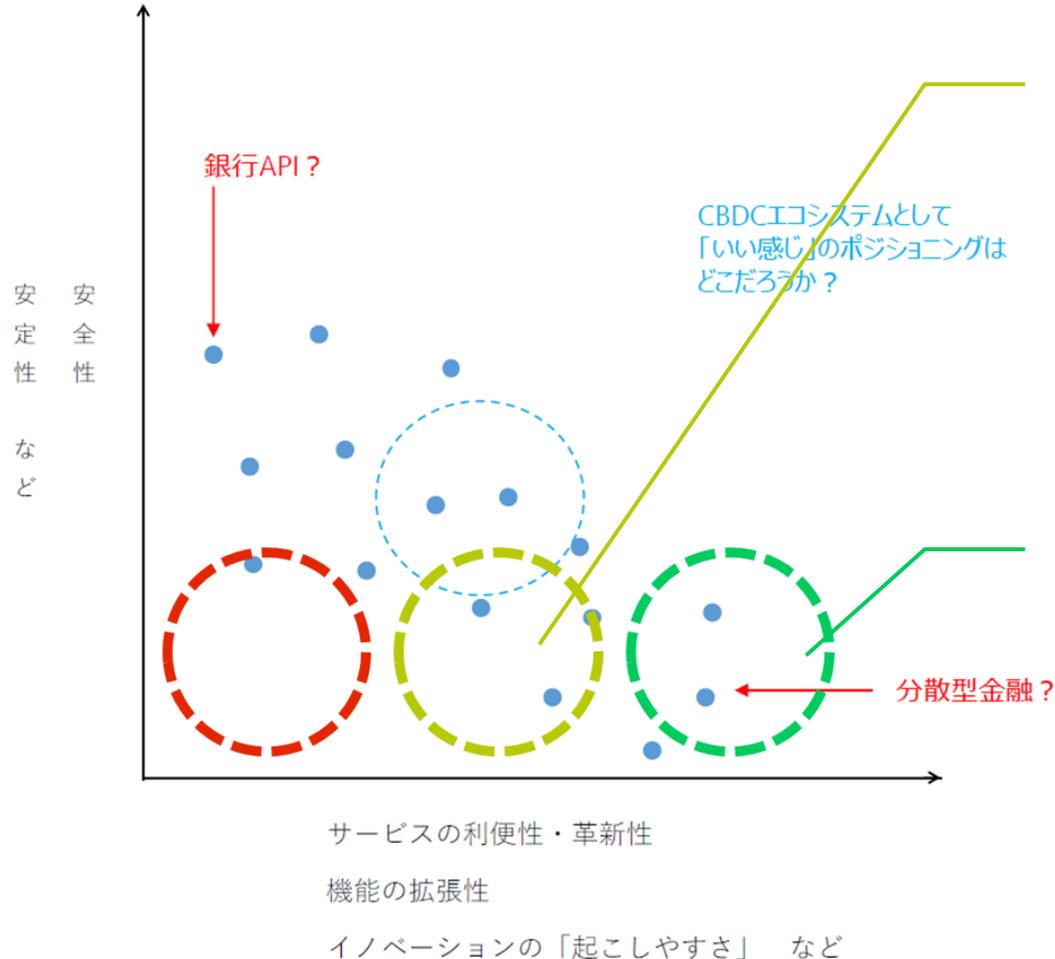
## 2.3 ②国内外問わず提供されていないサービスについてAPIで実現

CtoCのオンライン決済の場合、商品を受け取ったのに料金を払わないなどのケースがある。物流システムの情報と連携することで、**配送状況を検知できれば、バイヤーとサプライヤーのパワーバランスを調整し、フェアで安心な取引を実現**できる。



# ディスカッションテーマ

以下 2 つの切り口で、ディスカッションをお願いできればと思います。下記の切り口以外での発想も大歓迎です！



## 切り口① | 国内で普及していないサービスを仮押さえAPIで実現

海外では認知があるが、国内ではあまり普及していないサービスの流れや問題点に着目して、応用可能な切り口を模索してみる

## 切り口② | 国内外問わず提供されていないサービスを仮押さえAPIで実現

いま、当たり前提供されているサービスに欠かせない前提を取り払ってどう実現するか (ex. 第三者なしでC to C取引を実現) など、業界における前提となるバイアスを捉え、それと真逆の切り口で強制発想してみるアプローチ

# 03

## FIN/SUMに向けた検討アイデア

1月より、FIN/SUMに向けて、検討しているアイデアをご紹介します



# Beyond Finance™

みらいの社会のつくり手に

NTT data

